

令和4年度豊能二次医療圏病院連絡会結果（概要）

開催日時：12月1日 場所：池田商工会議所

出席病院：別添一覧

1 地域医療構想の推進に関する意見

【全体】

- コロナ禍では、病床稼働率の低下、救急受け入れ件数の減少等の影響が出ている。また、不安定かつ一過性の病床変更も生じており、当初の地域医療構想の見通しに修正が必要。

【病床機能の報告基準について】

- 全病院が合意したとは言えず、戸惑いがある。
- 病床機能の報告基準は、診療実績をもっと考慮してもらいたい。
- 診療機能の変更がなくても、府の報告基準に基づくと昨年と違う病床機能に変更されることがあるのはいかがなものか。高度急性期はHCU等だけではないのか。
- 病棟単位ではなく、病床単位で機能報告できたらよいのではないのか。
- 緩和ケア病棟は診療実態からは回復期にはあたらないのではないのか。

〈病院連絡会開催後ご意見受付シートより〉

- 報告の基準設定が全国的に取り組まれているものなのか説明ではわかりづらかった。
- これまでの府が使用していた地域急性期と回復期（地域）の違いがわかりづらい。
- 回復期（地域）の診療報酬上の位置づけがわかりづらい。

【回復期病床の転換にかかる課題】

- 「回復期の不足」とは「回復期リハ」なのか、「地域包括ケア」なのか、具体的に示してほしい。
- 圏域内でも、回復期病床の過不足にはばらつきがある。
- 病床数だけでなく、専門職確保の困難さや患者の需要等も影響する。
- 障がい者病棟は一般の慢性期病棟とは違うので、報告基準を変更すると回復期が増えるのではないのか。

2 病院の将来プランに対し意見のあった病院とその回答

（1）公立・公的病院

- 箕面市立病院：（病院への意見）〈病院連絡会開催後ご意見受付シートより〉
公立病院が地域の回復期リハのレベルアップのリーダーとなってもらえるように、箕面市立病院の回復期リハの設置に協力していく。

（2）その他、民間病院等

特になし